

## 臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。研究の結果は、個人情報保護し個人が特定できない形で発表を行いますが、本研究の対象者に該当する可能性のある受診者様で診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。なお、お問い合わせをいただいた段階で、既に学会発表や論文作成のため結果がまとめられ提出されたものについては削除ができませんので、問い合わせ後に結果をまとめる際から情報の利用を停止します。

■ 研究の対象期間と対象となる受診者様

2015年1月1日から2015年12月31日に、幕張クリニックで、上部消化管内視鏡検診をお受けになった方。

■ 研究課題名

バレット食道の長さや発癌リスクに関する全国多施設後ろ向き研究

■ 当院の研究責任者(所属)

渡邊義敬（幕張クリニック）

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

渡邊義敬（幕張クリニック）

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

食道腺癌は欧米を中心に急速に増加しており、日本でも増加の兆しがみられるようになってきました。バレット食道は食道腺癌の主要な発癌母地と考えられていますが、日本では対策が進んでいません。

バレット食道の長さ(バレット長)はバレット食道発癌関連因子であると報告されていることから、バレット長による発癌率の層別化が図れば有用性が高いと考えられます。本研究は全国の健診施設による研究で、保存されていたデータを後ろ向きに解析し、バレット食道の長さごとの発癌率を明らかにすることを目的としています。

研究に参加する全国の各施設における上部内視鏡検診画像を後方視的に検討します。検診の上部内視鏡検査でバレット食道の診断となった症例を対象とし、観察期間中の発癌の有無を確認します。

研究実施期間：2023年8月29日～2029年3月31日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

バレット食道が認められた症例の年齢、性別、バレット長等の上部内視鏡画像検査所見、等

■ 共同研究機関に情報を提供する方法

秋田大学大学院医学研究科、東京大学医学部附属病院の共同研究者へ資料を提供する場合は、誰のものか一見判別できないように氏名などはすべて削除し、別の管理番号に置き換えた情報のみを提供し、個人情報に関する資料は提供いたしません。

代表機関名：秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座

研究責任者：福田翔 連絡先（電話）：018-884-6104

共同研究機関名：東京大学医学部附属病院消化器内科

研究責任者：山道信毅 連絡先（電話）：03-3815-5411

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）： 渡邊義敬（幕張クリニック）

電話：043-296-2711（代）